

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	文化財施設課 課長 高木 明	
文財-07	実施事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 関連課	文化財施設課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えるとともに、調査・研究、展示をとおして市民等の利用に供するため。
効果	現在国宝7件45点、重文91件888点をはじめ、館藏品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉国宝館を円滑に運営するため鎌倉国宝館協議会を開催し、また、非常勤嘱託員及び臨時的任用職員を雇用了。 (公財)氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るため補助金を交付した。 9回の特別展を開催し、また、関係図書を出版・頒布して市民等の利用に供した。 収蔵資料を良好な環境の下で保存管理した。 鎌倉国宝館の適切な維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	85,494	67,905	当初予算(千円)	70,244		
	国県支出金	3,288	2,239	国県支出金	3,750		
	地方債			地方債			
	その他	17,640	19,215	その他	22,935		
	一般財源	64,566	46,451	一般財源	43,559		
	人員配置数	4.0	3.5	人員配置数	2.5		
事業経費運営	人件費(千円)	30,303	27,347	人件費(千円)	19,386		
	総事業費(千円)	115,797	95,252	総事業費(千円)	89,630		
	市民1人当りの経費(円)	656	540	市民1人当りの経費(円)	508		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公平性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済の場合のパートナー	鎌倉国宝館友の会 (公財)氏家浮世絵コレクション 玉縄城址まちづくり会議
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	鎌倉ゆかりの文化財をより安全に後世に伝えるには、施設の老朽化や免震設備未設置部分への対策を実施する必要があるため。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、バリアフリー対策が喫緊の課題であるため。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	・鎌倉国宝館は鎌倉市域、近隣の社寺に伝来する貴重な文化財の寄託を受けており、これらを後世に伝えていくために必要不可欠な施設であることから「関連・類似事業との統合」の可能性は無く、廃止による影響は大きい。 ・事業の方向性や手法は概ね適切であるが、更に鎌倉の歴史や文化に関する情報や学習機会を提供していくための収蔵品の充実、展示や講座の積極的な実施、学校教育・生涯学習事業との連携などに努めていく。 ・観覧料の導入等により受益者負担を実施している。また、関連団体との協働事業を実施している。

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品を更に充実させ、魅力ある展示やその他の催しを企画し入館者の増加を図る。 ・施設の老朽化への対策、免震設備対策、バリアフリー対策を継続する。 ・学校教育の場としての利用を更に促進する。 ・た鎌倉歴史文化交流館と連携を行い、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・免震型展示ケース1台の導入を行った。 ・特別展開連講座や出張講座といった一般向けの公開講座を実施したほか、市内外の小中高等学校の学校行事による利用について、職場体験の受入や、出張授業、特別解説等を実施して学校教育との連携を図った。 ・学芸員等の業務の公益性を高め、活動の推進に寄与するため、鎌倉市教育委員会学芸員等倫理基準を定めた。 ・学芸員等の研究成果を収録した、鎌倉市教育委員会文化財部調査研究紀要を刊行した。 ・鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会を設置した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品を更に充実させ、魅力ある展示やその他の催しを企画し入館者の増加を図る。 ・施設の老朽化への対策、免震設備対策、バリアフリー対策を継続する。 ・学校教育の場としての利用を更に促進する。 ・鎌倉歴史文化交流館と連携を行い、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。 ・鎌倉市にふさわしい博物館基本構想(案)を策定する。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成30年度(2018年度)入館者数(人)							
団体名								
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム			
	48,907	121,415	88,645	138,745	282,211			

比較事項	平成30年度(2018年度)観覧料収入(千円)							
団体名								
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム			
	16,822	10,989	22,337	公表せず	公表せず			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	入館者数	単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業へのニーズや反響を把握するため。	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績値	30,875	50,585	44,961	47,282	48,907	
	達成率	44.1%	72.3%	64.2%	67.5%	69.9%	

指標の内容	観覧料収入	単位	千円	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業を実施することにより、もたらされた収入額を明らかにする。	目標値	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	実績値	10,369	16,139	14,597	15,565	16,821	
	達成率	48.2%	75.1%	67.9%	72.4%	78.2%	

指標の内容	免震型展示ケース等導入実績	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
来館者の安全を確保するとともに、展示資料を保護し後世へ伝えるため。	目標値	-	-	60.0	70.0	80.0	100.0
	実績値	-	-	60.0	70.0	80.0	
	達成率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	

指標の内容	鎌倉歴史文化交流館との連携事業実施回数	単位	回	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
鎌倉歴史文化交流館との連携を行うことで、より鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努めるため。	目標値	-	-	-	-	10.0	10.0
	実績値	-	-	-	5.0	4.0	
	達成率	-	-	-	-	40.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度(2018年度)は、平成29年度(2017年度)に比べ入館者数・観覧料収入ともに増加した。引き続き収蔵品の充実を図り、魅力ある展示やその他の催しを企画して入館者の増加を図るとともに、展覧会についての積極的な広報活動を行うことで観覧料収入の増加に努めていく。 ・免震型展示ケース等の導入実績については、既存の覗き型展示ケース2台を、免震機能付きケース1台(覗き型)に更新することで目標値を達成できた。
-----------------------	---